日本青年国際交流機構第 38 回全国大会

（Glocal Youth Leaders Summit）

令和４年 12 月３日（土）

目次（ページ）

本大会について（大会テーマ）……３

内閣府特命担当大臣挨拶……５

日本青年国際交流機構（IYEO）会長挨拶……６

一般財団法人青少年国際交流推進センター理事長挨拶……７

鹿児島県知事挨拶……８

GYLS 実行委員長挨拶……９

日程（全体スケジュール）……10

第１部　開会式次第……11

第１部　基調講演……12

第１部　パネルディスカッション……13

第１部　閉会式次第……14

第２部　開会式次第……15

第２部　スーパーパワー・ワークショップ　……16

第２部　閉会式次第……17

Zoom のご案内・参加後アンケートのお願い……18

日本青年国際交流機構＆鹿児島県 IYEO の活動紹介……19

鹿児島の魅力紹介……23

本大会について（大会テーマ）

１．目的

内閣府、地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、社会活動に取り組むために必要な知識と意欲を高め、情報交換を行うとともに国際社会や地域社会への貢献を考えることにより、それぞれの活動を通じて、次世代の人材育成、地域の国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。本全国大会（Glocal Youth Leaders Summit）は、内閣府青年国際交流事業参加後の青年の事後活動研修を兼ねる。

２．テーマ

「鹿児島から未来へ。“ワクワク”から踏み出す私の第一歩。」

地方の青年にとって、選択肢があることを知ることは非常に重要なことです。現代では、場所にかかわらずインターネットで数多くの情報を入手できますが、自分の興味分野に関係するネットワークやコミュニティを直接知っているかどうかが情報の質を左右します。

また、世界を舞台に活躍する方や社会貢献活動をする方など身近にロールモデルとなるような存在が見つけにくいために、目指したい目標や人物像に気付かない・触れる機会がないのも地方の課題であると考えられます。GYLS に参加することで、多くの活動家の話を聞き、ロールモデルとなる人と出会い、そういう方達がどのような動機とパッションをもって地域やそれぞれのコミュニティで活動しているかを理解する機会となることでしょう。同世代や幅広い世代の人たちと意見交換をすることで、参加者が自分自身の興味分野に気付き、出会い、選択肢を知ることで自分の世界が広がることを期待しています。

内閣府青年国際交流事業の既参加青年にとっては、同事業の参加経験を活かし、未来を担う青年をリードすることにより、自身がグローカルリーダーのロールモデルとして青年たちと接することによる成長と自覚を育む機会となることを期待しています。

このイベントを通して、参加者がそれぞれの学びを自分が所属するコミュニティ、または新たに創造する自身のコミュニティに活かしていくことを目指しています。

メインターゲットとする中・高・大学生が、自分の興味分野が何なのか、その分野で活躍している人がどういうことを学んできたのか、興味分野についてもっと深く学ぶにはどうすればよいのか、どのような選択肢があるのかを知る・考えるきっかけになってほしいと考えます。

また、今日からできるアクションを自分自身と他の参加者などへ宣言することにより、このイベントをきっかけに一歩踏み出すことを後押したいと考えています。

＊グローカルリーダーとは： 10 代～30 代、自分の周りも世界も身近に感じて考えようと試みる、地域視点で、世界にアクションを起こすリーダー、具体的行動を起こすことができる人、地域に貢献する人材、周囲を巻き込む、想像力をもつ、発信・表現することが出来る人材

３．主催・共催・運営事務局・協力・後援

第１部
主催：内閣府
共催：日本青年国際交流機構
運営事務局：一般財団法人青少年国際交流推進センター
　　日本青年国際交流機構第 38 回全国大会(Glocal Youth Leaders Summit)
　　第１部実行委員会
協力：鹿児島県青年国際交流機構
後援：鹿児島県、鹿児島県教育委員会

第２部
主催：日本青年国際交流機構、一般財団法人青少年国際交流推進センター
運営事務局：日本青年国際交流機構第 38 回全国大会(Glocal Youth Leaders Summit)
　　第２部実行委員会
協力：内閣府、鹿児島県青年国際交流機構
後援：鹿児島県、鹿児島県教育委員会

内閣府特命担当大臣挨拶

青少年国際交流事業事後活動推進大会に寄せて

内閣府特命担当大臣　小倉　將信

青少年国際交流事業事後活動推進大会の開催に当たり、御挨拶申し上げます。

政府が主催する青年国際交流事業は、「国際社会・地域社会で活躍する次世代グローバル・リーダー」の育成を目的とし、航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業を約 60 年にわたり実施してきた大変長い歴史を持つ事業です。

この間、様々な経済社会環境の変化もありましたが、特に新型コロナウイルス感染症の世界的流行が与えた影響は大きく、従来どおりの事業実施が困難になりました。こうした中にあっても、内閣府では、オンライン交流により本事業を継続し、日本青年の人材育成、世界各国の青年との相互理解と友好促進を図るため、青年国際交流の機会を提供してまいりました。本事業の既参加青年の皆様におかれましても、内閣府のオンライン交流事業への協力はもとより、コロナ禍という困難な状況の中、各地で青少年育成や国際交流活動などの社会貢献活動を行い、青少年国際交流の火を灯し続けていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

時代は令和に入り、感染症のリスク以外にも、グローバル化の一層の進展やＳＤＧｓをはじめとした地球規模の課題の解決に向けた取組が求められるなど、社会・経済・環境が急速に変化する中、青年国際交流事業についても、伝統を継承しつつ、大胆に変革し、「令和の新事業」として新たなスタートを切るべく動き出しています。

今年度は、一部事業において３年ぶりに対面交流を再開し、オンライン交流も組み合わせたハイブリッド事業を実施予定です。さらに、来年度以降は、船内での交流も含め本格的な対面交流を再開するとともに、オンラインでチームビルディングを行うなどデジタル技術も活用しつつ、リアルで「共に汗をかく経験」を通じて地域の課題解決のための実践力向上を図るプログラムとして充実させていきたいと考えており、より進化した「令和の新事業」を皆さんと一緒に創り上げていく所存です。

本大会のテーマは、「鹿児島から世界へ。未来へつながる第一歩。」です。開催地である鹿児島県は、16 世紀の種子島への鉄砲伝来、キリスト教の伝来など我が国が西洋文化に初めて出会った地であるほか、幕末において薩摩藩は、英国への留学生派遣、パリ万国博覧会への独自参加など、歴史的にも外国との交流の門戸として重要な役割を果たしてきた地域です。次世代を担う多くの若者が、「地域と世界をつなぐ」グローバル・リーダーについて議論し、発信する場としてふさわしい土地と考えます。

この鹿児島の地で大会を開催できることを嬉しく思うとともに、関係者の皆様の御尽力に感謝申し上げます。本大会に御参加いただいた皆様が、地域と世界をつなぎ、各分野において更なる御活躍をされることを心から祈念いたしまして、私のメッセージといたします。

日本青年国際交流機構(IYEO)会長挨拶

日本青年国際交流機構第 38 回全国大会
（Glocal Youth Leaders Summit）の開催にあたって

日本青年国際交流機構（IYEO） 会長　長末 辰也

数年前から様々な社会情勢や新型コロナウイルス感染症などによる影響が IYEO にも及び、今の IYEO は大きな転換期の真っただ中にあり、新しい IYEO へと変わるべく多くの改革を行ってきました。令和４年度の IYEO 体制を始めるにあたって、「外に、未来へ、楽しく」というテーマを掲げ、様々なことに引き続きチャレンジしています。

そのひとつとして IYEO の活動と内閣府事業の事後活動にとって非常に重要な位置づけを持つ全国大会やブロックイベントについても、「外に」という視点で IYEO 会員は勿論ですが多くの非会員を巻き込んだ内容にする方針としました。

そこで、今までの「全国大会」という名前を「Glocal Youth Leaders Summit（以下 GYLS）」に変更し、未来を担う多くの青年に参加してもらえるようにと企画を進めてきました。

少しずつですがコロナ禍での行動制限が緩くなり対面形式のイベントが増えてきているのは喜ばしいことです。やはり対面で様々な人たちと話すことは、相手や場の熱量が伝わり参加者の一体感や気持ちの高ぶりなどがオンラインと比較して大きく感じられ、それらはオンラインイベントで作り上げることがなかなか難しいなと感じています。

一方でオンラインイベントは地域や国などの場所という制限を超えて参加ができるというメリットがあり、多くの方が気軽に参加し地元ではなかなか得られない情報や人材に触れられるのは、とても大きな変化だと思います。

行動制限が緩和されたとはいえ冬期の感染拡大やインフルエンザとの同時流行が心配される中、対面とオンラインそれぞれのメリットを考えた上で今回の GYLS は敢えて対面ではなくオンラインでの開催を早くから決め、オンラインでのメリットを最大限に生かしつつ「自分との対話から未来へ踏み出す」という方向性で企画を進めてきました。

このたび GYLS を開催するにあたり、鹿児島県や実行委員会を中心に準備に関わってくださった全ての皆さまと、参加していただく皆さまと一緒に初めての GYLS をつくれることをとても嬉しく思います。

今回の GYLS のテーマは「鹿児島から未来へ。“ワクワク”から踏み出す私の第一歩。」です。社会人経験のない青年参加者には将来の仕事や生き方を考えるという視点で、社会人経験の豊富な参加者には今までの人生や仕事を振り返りながらの視点で、改めて自分の興味分野が何なのか、その分野で活躍している人がどういうことを学んできたのか、興味分野についてもっと深く学ぶにはどうすればよいのか、どのような選択肢があるのかを登壇者の話やワークショップを通して知る・考えるきっかけになってほしい。また、今日からできるアクションを自分自身と他の参加者などへ宣言することにより、このイベントをきっかけに皆さんの未来へ一歩踏み出すことの後押しとなれば幸いです。

一般財団法人青少年国際交流推進センター理事長挨拶

日本青年国際交流機構第 38 回全国大会
（Glocal Youth Leaders Summit）
及び第 29 回青少年国際交流全国フォーラムの開催にあたって

一般財団法人青少年国際交流推進センター 理事長　駒形　健一

今回の「全国大会」及び「青少年国際交流全国フォーラム」は新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度に続いてオンライン開催となりました。ワクチン接種の進展と入国管理規制の緩和により長いトンネルの出口がやっと見えてきた感がありますが、この２年半の新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大により、社会経済が不確実性を増し、進学や就職などのキャリア形成に大きな影を落としています。今回の基調講演では、様々な人生経験をされた奥田講師から、「わくわくすることだけ、やればいい！」をテーマに、これからの職業選択やキャリア設計において大事になるであろう意識と価値観についてお話を伺います。基調講演後のパネルディスカッションでは、様々な分野で活躍している皆さまに「私が踏み出した一歩と、これから描く世界」をテーマに、各人の培ってきた価値観を披露していただきながら、これからの未来やわくわくについて興味深いお話が聞けるのではないでしょうか。

本大会を通じ、参加青年がイベント企画や運営のノウハウを学び、グローカルリーダーとしての一歩を踏み出す機会となることを期待しています。

青少年国際交流全国フォーラムとなる第２部では、「スーパーパワー・ワークショップ」を開催しますが、基調講演をベースに、「自分のワクワクと強みを知ろう」をテーマに、自分の価値＝スーパーパワーについて考えるユニークなワークショップが用意されています。参加する皆さんがワクワクしながら自分ならではの「スーパーパワー」と「大切にしている価値」を再発見し、それを社会にどう生かしていくかを皆と共有する充実した時間となることを願っています。

終わりに、大変御多忙の中、基調講演とワークショップをお引き受けいただいた奥田浩美様、４人のパネラーの皆様、鹿児島県青年国際交流機構、及び GYLS 実行委員会の皆さんを始め、関係各位の方々に心から感謝申し上げ、今回の全国大会（GYLS）とフォーラムが全国各地域の事後活動の活性化と質の向上につながることを期待して、御挨拶といたします。

鹿児島県知事挨拶

「青少年国際交流事業事後活動推進大会」
「日本青年国際交流機構第 38 回全国大会
(Glocal Youth Leaders Summit)」
「第 29 回青少年国際交流全国フォーラム鹿児島大会」
の開催を祝して

鹿児島県知事　塩田　康一

この度の３つの全国大会等の開催を心よりお喜び申し上げます。
主催される日本青年国際交流機構など関係機関・団体の皆様におかれましては、日頃から青少年の国際交流活動や国際親善等の推進に尽力されていることに、深く敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の影響によって、本県初となるこれらの大会がオンライン開催となり、当地に皆様をお迎えできないことは誠に残念でありますが、鹿児島大会と称して「鹿児島から未来へ。ワクワクから踏み出す私の第一歩。」をテーマに、基調講演やパネルディスカッション、ワークショップ等が実施され、多くの皆様が研鑽や交流を深められますことは、本県の国際交流の推進や国際人材の育成等にも大きく寄与するものと考えております。

本県におきましては、県内の青少年が上海、香港、台北などアジア経済圏の主要都市の若い企業人と交流を行う派遣研修や、香港、シンガポール、ロンドン・カムデン区及びマンチェスター市の青少年と交流を行う語学研修やホームステイ等を実施しており、今大会を契機として、国際的視野と国際協調の精神をもつ次代を担うにふさわしい青少年の育成に一層取り組んでまいりたいと考えております。

本県は、錦江湾に浮かぶ雄大な桜島、世界自然遺産の屋久島、奄美大島・徳之島など多様で豊かな自然や、本県で先月開催された第 12 回全国和牛能力共進会において「和牛日本一」を獲得した鹿児島黒牛をはじめ、かごしま黒豚やうなぎ、本格焼酎、お茶など多彩で豊富な食の宝庫でもあります。さらに、 来年は、「2023 かごしま総文」や「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。

皆様には、こうした機会に御来県の上、本県の魅力に直接触れていただきたく、心よりお待ち申し上げております。

結びに、本大会が皆様にとりまして未来への新しい第一歩を踏み出すきっかけとなりますこと、併せて、御参加の皆様の益々の御健勝・御活躍を心より祈念いたします。

GYLS/鹿児島大会実行委員長挨拶

一歩先の未来を見に行こう

実行委員長　園　翔太

GYLS（Glocal Youth Leaders Summit）鹿児島大会への御参加、誠にありがとうございます。今回の大会より、「全国大会」から「GYLS」へと名称を変え、今まで以上に外へ開かれた大会となるよう、GYLS 実行委員会・鹿児島県 IYEO が中心となって準備を進めて参りました。

今回の大会テーマ「鹿児島から未来へ。“ワクワク”から踏み出す私の第一歩。」には、特に今回御参加いただく中・高・大学生の皆さんにとって、自らの願いや思いから未来への第一歩を踏み出す、そのきっかけになってほしいという運営に関わるメンバーそれぞれの思いが込められています。

そして、その思いを形にするためのこの上ない助っ人が、第１部の基調講演、第２部でのワークショップを進めていただく奥田浩美さんです。また、第１部のパネルディスカッションでは、奥田さんとの御縁から海外で御活躍される女性起業家のお二方にもお力をお借りします。中・高・大学生に限らず御参加いただく皆さまが、この大会を通して少しでも「愛」と「希望」を持ち帰っていただける機会となること、さらにはこの鹿児島からそれぞれの新たな一歩が始まっていくワクワクを、一緒に感じていただけることを願っております。

大会全体にとっても「GYLS」として初めての開催、まさに新たな第一歩となります。その一歩先に広がる未来を心から楽しみに感じると同時に、この場をお借りして運営に関わる皆さま、御参加いただく皆さまへ、改めて感謝申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の状況や、全国から中・高・大学生の方々にも同じ条件で御参加いただけるようにと、今回はフルオンラインでの開催となりました。食や自然をはじめ、様々に魅力溢れる鹿児島をこの機会に直接感じていただきたいところ、これもまたひとつの御縁として、大会終了後には是非、鹿児島へお越しください。鹿児島県という地域の温かさと、桜島のマグマの熱量が、いつでも皆さまをお待ちしております。

日程（全体スケジュール）

令和４年 12 月３日(土)

12:30-13:00　受付

13:00-13:15　第１部 開会式

13:15-13:25　チェックイン

13:25-14:00　基調講演「ワクワクすることだけ、やればいい！」
講師： 株式会社ウィズグループ　代表取締役
奥田（おくだ） 浩美（ひろみ）　氏

14:00-14:10　質疑応答

14:10-14:55　パネルディスカッション
テーマ：「私が踏み出した一歩と、これから描く未来」
パネラー：三木（みき） アリッサ　氏
Cashi Cake inc. CEO
矢澤（やざわ） 麻里子（まりこ）　氏
Yazawa Ventures 代表パートナー
園（その）　翔太（しょうた）　氏
2019 年度内閣府青年国際交流事業
「東南アジア青年の船」事業参加青年

14:55-15:10　全体報告

15:10-15:15　第１部 閉会式

15:15-15:25　休憩

15:25-15:30　第２部 開会式

15:30-16:10　スーパーパワー・ワークショップ

16:10-16:45　アイデアシェア

16:45-17:00　チェックアウト

17:00-17:15　第２部 閉会式

第１部 開会式式次第

1. 開会の言葉
   GYLS 鹿児島大会　実行委員長　園（その）　翔太（しょうた）

2. 主催挨拶
   内閣府青年国際交流担当室　室長　黒瀬（くろせ）　敏文（としふみ）（ビデオメッセージ）

3. 共催挨拶
   日本青年国際交流機構　会長　長末（ながすえ）　辰也（たつや）

4. 来賓挨拶
   鹿児島県知事　塩田（しおた）　康一（こういち）（ビデオメッセージ）

5. 関係団体紹介（主催、共催、運営事務局、協力、後援団体）

6. 閉会

第１部　基調講演

《基調講演》

テーマ
「ワクワクすることだけ、やればいい！」

（内　容）
あるきっかけで「敷かれた人生のレール」から外れ様々な価値観にもまれて形成された奥田氏の価値観の原点とは？90 年代から現代にいたるまでの社会や働き方の変化から見る、これからの職業選択やキャリア設計において大事になるであろう意識と価値観について話を聞く。

●講師：　奥田（おくだ）浩美（ひろみ）　氏、
株式会社ウィズグループ　代表取締役

≪プロフィール≫
鹿児島県生まれ。鹿児島大学卒業後インドに渡る。
ムンバイ大学（在学時：インド国立ボンベイ大学）
大学院社会福祉課程修了。1991 年に IT 特化の
カンファレンス事業を起業。2001 年に
株式会社ウィズグループを設立。
2013 年には過疎地に株式会社たからのやまを創業。

委員：経済産業省スタートアップ推進委員、
厚生労働省「医療系ベンチャー振興推進会議」委員、
環境省「環境スタートアップ対象」審査委員長など多数。

著書：ワクワクすることだけ、やればいい！（PHP 出版ほか）

第１部 パネルディスカッション

奥田浩美さんからの基調講演をうけて、次のパネルディスカッションでは、現在国内外で活躍されている３名のゲストパネラーのみなさんにご登場いただき、テーマ「未来のしごととワクワク感」について、さらに深掘りしていきます！

それぞれに今取り組んでいる「しごと」について、どのようなきっかけや気持ちで始められたのか、これまでぶつかってきた壁や失敗、あるいは今どんなところに魅力ややりがい、ワクワクを感じ、どんな思いや気持ちで取り組まれているのか、などについてお話いただきます。

- 「しごと」って大変そう、、
- 「しごと」って面白いの？
- 「しごと」ってどう選んだら、、
- 「しごと」ってワクワクする？

ふだんなかなか直球で聞きにくい働く大人の「しごと観」について、今まさしくワクワクしてしごとに取り組んでいるパネラーのみなさんの思いや経験から、きっと多くのヒントが得られると思います。テーマは「私が踏み出した一歩と、これから描く未来」。
今回ご登場いただくゲストパネラーは、この３名の方々です 。

三木アリッサさん

プロフィール

2019 年 11 月に MISAKY.TOKYO(ミサキ・トウキョウ)をロサンゼルスでローンチ。Forbes JAPAN「今年の顔 100 人(2021)／Forbes JAPAN「地球で輝く女性 100 人最年少選抜(2018)／Business Insider Japan「Game Changer 2019」選出メンバーの一人。

矢澤麻里子さん

プロフィール

ニューヨーク州立大学を卒業後、BI・ERP ソフトウェアのベンダにてコンサルタント及びエンジニアとして従事。国内外企業の信用調査・リスクマネジメント・及び与信調査モデルの構築などに携わる。その後、サムライインキュベートにて、スタートアップ 70 社以上の出資、バリューアップ・イグジットを経験した後、米国 Plug＆Play の日本支社立ち上げ及び COO に就任し、150 社以上のグローバルレベルのスタートアップを採択・支援。出産を経て 2020 年 Yazawa Ventures として独立。

園翔太さん

プロフィール

2019 年度内閣府青年国際交流事業「東南アジア青年の船」参加青年。
京都市出身。鹿児島大学への進学を機に鹿児島へ。学生時代に参加した「東南アジア青年の船」では、ニックネームを「SATSUMA」と名乗り、船内や寄港地活動で鹿児島を世界へ発信。夢は、「鹿児島に航空会社を作ること」。

パネラーみなさんのそれぞれの「価値観」（自分らしさ・ワクワク感）と「しごと観」（今取り組んでいること・未来にめざすゴール）にぜひご注目ください！

第 1 部 閉会式次第

1. 主催挨拶

   内閣府 青年国際交流担当室　参事官　田中（たなか）　駒子（こまこ）

2. 閉会

第２部 開会式次第

1. 主催者紹介

   日本青年国際交流機構　会長　長末（ながすえ）　辰也（たつや）

   一般財団法人青年国際交流推進センター　理事長　駒形（こまがた）　健一（けんいち）

2. 関係団体紹介（運営事務局、協力、後援団体）

3. 閉会

※A4 の白紙と、ペンのご用意をお願いいたします。

自分の価値
″Super Power″

このワークショップでは、

「自分の価値に気づき、
自分の価値を生かして
自分がやりたいことは何か」

を考えていきます。

自分を見つめ直し、
自分のことをより理解する
きっかけになれば幸いです。

まっすぐ自分の気持ちに正直に、
参加してみてください。

第２部 閉会式式次第

１．　開会

２．主催者代表挨拶

一般財団法人青年国際交流推進センター　理事長　駒形（こまがた）　健一（けんいち）

３．大会旗引継ぎ

４．次期開催県挨拶

とっとり青友会　第 39 回全国大会実行委員長　柿本（かきもと）　和也（かずや）

５．閉会の言葉

鹿児島県青年国際交流機構　会長　春田（はるた）　千幸（ちさき）

Zoom のご案内・参加後アンケートのお願い

○当日の Zoom のご案内

https://us02web.zoom.us/j/87688522582?pwd=QzN1T2dOM3hYWjBWaEU5TVR2QO13QT09
ミーティング ID: 876 8852 2582
パスコード: 615972

＊受付は、12：30 から開始予定です。たくさんの方々の御参加を予定しておりますので、時間に余裕を持った入室への御協力をよろしくお願いいたします。

〇参加後アンケートのお願い

本日は、Glocal Youth Leaders Summit に御参加いただき、誠にありがとうございました。

さて、本大会はいかがだったでしょうか。学生の皆さまをはじめ、参加された方々自身にとって、自分の理解を深める有意義な時間となりましたでしょうか。

私たち実行委員一同は、アンケートを通して参加された多くの方々より御意見を頂戴し、鹿児島県 IYEO として、この貴重な経験を今後の活動に活かしていきたいと考えております。

大変恐縮ではございますが、アンケートへの御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

以下の URL または QR コードからお願いいたします。
回答締め切りは、12 月 12 日（月）までとなります。
皆さまの御協力お願いします。

URL:
https://forms.gle/swmsikXyZx2U6DTx9

QR コード

日本青年国際交流機構＆鹿児島県 IYEO の活動紹介

日本青年国際交流機構（IYEO）とは

International Youth Exchange Organization of Japan

【どんな団体】
内閣府（総務庁・総理府）の青年国際交流事業に参加した日本青年による事後活動組織

【活動指針】

「共生社会の実現に向けて、生きる力を発揮しよう」

人々の交流がより一層スピード感をもち、混ざり合うこれからの社会においては、幅広い視野を持って柔軟に新しい取組を考え、実行できる人材が必要とされています。私たちは、世界につながる IYEO の全国ネットワークを活用し、青少年及び広く一般を対象に、多様な価値観と出合う楽しさを作り続けることによって、地域の国際化と次世代リーダーの育成を目指します。

1. 多様な交流で地域と世界の距離を縮めよう
自分の暮らす地域への理解を深め、地域への誇りと当事者意識を持ち、
国際交流活動を推進します。

2. 次世代のグローカルリーダーを育てよう
世界各国との交流や視野を広める機会を青年と共につくり、青少年の
国際的な友好や相互理解の促進と協調精神を高めることで、
地域から世界に向けてグローカルに活躍する次世代のリーダー人材を育成します。

3. 多様な関係者と協働し社会課題を解決しよう
会員のリーダーシップ、ネットワーク、専門性を活用し、
社会課題の解決に取り組むことで、地域に暮らす一人ひとりが人間性を高め、
だれもが生き生きと暮らせる社会の実現に貢献します。

【内閣府青年国際交流事業】

①目的

内閣府の青年国際交流事業は、世界各国の青年との交流を通じて、相互の理解と友好を促進するとともに、国際的視野を広めて、国際協調の精神を養い、次代を担うにふさわしい青年を育成することを目的としています。

各事業において、我が国及び諸外国の参加青年は、世界的視野に立った共通課題の意見交換、自国の文化の紹介などの各種交流活動や、産業・文化・教育施設の視察、ホームステイなどの活動を行い、友好、親善を深めます。

各事業に参加した日本青年たちは、日本青年国際交流機構（IYEO）を組織し、海外で得た貴重な体験をいかし、地域社会、あるいは職域などにおいて社会貢献や国際協力等の促進のための諸活動を行っています。

②５つの事業（今年度の募集は終了しています。来年度以降、ご応募お待ちしています！）

国際社会 青年育成事業	昭和、平成の皇太子殿下の御成婚記念事業を、2019 年のお代替わりを契機に発展させた事業です。世界各地域ごとの課題をテーマに設定し、当該課題を抱える 2 か国に日本青年を派遣して現地青年とのディスカッション、施設訪問及びホームステイを行います。また、帰国後は、派遣先から招へいした外国青年と国際青年交流会議に参加し、テーマに基づくディスカッションを通じてプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めます。（18 日間）
日本・中国 青年親善 交流事業	1978 年の日中平和友好条約の締結を記念し、1979 年から開始された日中両国政府による共同事業です。 文化紹介やホームステイを通した交流とともに、ビジネス環境・就職・ボランティアの状況などについて、両国の共通点や相違点などを掘り下げて考える機会ともなる大学生との意見交換、グローバルに飛躍をとげる中国の先進企業訪問、起業をめぐるビジネス制度等に関連する施設の訪問等を行う多彩なプログラムです。（12 日間）
日本・韓国 青年親善 交流事業	1984 年の日韓両国首脳会談における共同声明の趣旨を踏まえ、1987 年から開始された日韓両政府による共同事業です。 文化紹介やホームステイを通じた交流、地球環境、文化、教育、社会福祉等の各種施設、先進企業の訪問やディスカッション等を行います。これらを通じて、日韓関係の将来に向けたありようについて踏み込んで考え、どのような領域で青年たちが東アジア地域の発展に貢献できるのかを考えてゆく機会ともなります。また、日本に招へいした韓国青年と日本青年との合宿文化交流会等を行っています。（15 日間）

「東南アジア青年の船」事業	1974 年に開始したわが国と ASEAN 諸国との共同事業です。ASEAN10 か国の青年と船内等で共同生活をしながら、ディスカッションや文化交流を行います。東南アジア各国から選びぬかれた青年とのネットワークを構築するとともに、アジア地域の未来を担う人材の育成を図ります。（約 40 日間）
「世界青年の船」事業	1967 年度開始の「明治百年事業」にルーツがある事業です。 毎年異なる世界 10 か国から集まった外国青年と船内等で共同生活をしながら、ディスカッションや文化交流を行います。 プロジェクトマネジメントや異文化対応を、理論・実践の両面で強化することに重点をおいた事業です。（約 30 日間）

出典：内閣府ホームページ　https://www.cao.go.jp/koryu/

鹿児島県青年国際交流機構（鹿児島県 IYEO）

【活動指針】

国際理解を深め、国際親善に寄与し、
もって広く社会に貢献する

- **国際交流、異文化交流の機会作り**
- **未来を担う次世代リーダーの育成**
- **鹿児島の魅力発信**

鹿児島が大好きなメンバーで
楽しく活動しています！

【これまでの取り組み】

- 内閣府　青年国際交流事業　地方プログラム活動
  （海外青年と鹿児島の青年の交流事業）
- 青年国際交流事業への参加希望者の支援
- 鹿児島の地域特性や異文化交流などをテーマにした研修会の開催
- 熊本地震復興へむけた支援活動

内閣府　青年国際交流事業　地方プログラム活動

異文化交流イベント

鹿児島の情報発信イベント

鹿児島県 IYEO のイベント
情報発信していきます！

公式 Instagram

KAGOSHIMA_IYEO

公式 Facebook

つきましては、鹿児島県 IYEO の今後の活動のため、私たちの活動に御賛同、御支援いただける方は、御寄付をお願いいたします。

寄付用 QR コード

＜寄付金額＞
１口 1,000 円（何口でも可）

お問い合わせ先：GYLS 実行委員会　gyls.committee@gmail.com

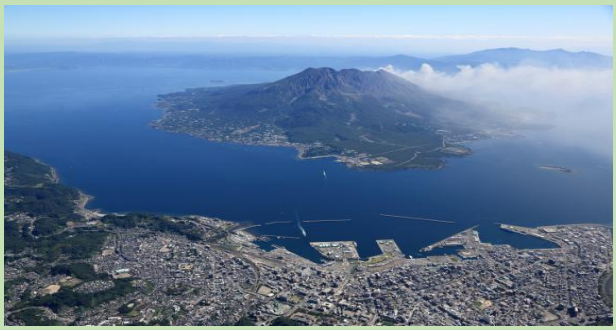
鹿児島県の魅力紹介

源泉数全国第２位　温泉大国

全国的には指宿、霧島といった二大温泉郷が有名ですが、火山が多い鹿児島県では、良質の温泉があちらこちらから湧き出ています。鹿児島市内にも温泉の源泉がなんと 280 ほどあり、いわゆる「銭湯」と呼ばれる施設も、そのほとんどが天然温泉という贅沢。価格もリーズナブルなので、地元の人とおしゃべりをしながら入浴すれば、ここぞという穴場スポットを紹介してくれるかもしれません。

大地のパワーを感じる　桜島

約２万６千年前から噴火を繰り返し、繰り返しして誕生した桜島。以前はその名のごとく錦江湾にぽっかりと浮かんだ「島」でしたが、大正３（1914）年の大噴火によって大隅半島と陸続きになりました。島の東にある黒神神社の鳥居は、そのときの溶岩で埋もれてしまい笠木のみを地上に残し、噴火のすさまじさを伝えています。桜島は、現在も活動している活火山ですが、フェリーなどで渡ることが可能。溶岩流でできた大地を踏みしめながら、噴煙をあげる火山の様子を間近で観察すれば、地球が生まれた頃の壮大なエネルギーを体感できるでしょう。



日本最初の国立公園とジオパーク

鹿児島県と宮崎県にまたがる霧島山は、「韓国が見える」という言い伝えがある韓国岳を最高峰（１７００m）に、東西２２㎞、南北１８㎞の範囲に２０あまりの火山が脈々とそびえ、周辺には大浪池をはじめとする火口湖をたたえています。

豊かな自然に囲まれたこの一帯は、四季折々の美しさや雄大で変化に富んだ景観が魅力です。昭和９年３月に日本ではじめて国立公園に指定されました。また、平成２２年９月には霧島山を中心とした環霧島地域が「自然の多様性とそれを育む火山活動」をテーマに日本ジオパークに認定されました。霧島ジオパークには、「景観、火山の博物館、植生、歴史・神話」の４つの魅力があります。ぜひ日本ジオパークに認定された霧島ジオパークを堪能してください。

鹿児島の農林畜産業

農業･畜産業

鹿児島県は全国屈指の農業県です。本土でも南端に位置する温暖な気候を活用した園芸や畜産が盛んです。 また「かごしまブランド商品」として、様々な農畜産物を世界や全国に出荷しています。鹿児島県の農業産出額は全国第２位（平成 30 年）です。※平成 30 年度作物統計より

離島面積は全国一，海岸線の総延長は全国第３位という海の恵みをたっぷり受けている鹿児島県。

林業

鹿児島県の森林面積は 585.575ha です。素材の生産高は全国第９位、まきの生産高は全国第１位です。鹿児島県の竹林面積は 16,000ha で全国の竹林面積の 24%を占め、全国一の竹林面積を有しています。全国一の竹林面積から生産されるタケノコも生産量全国第１位です。

鹿児島県観光サイト
かごしまの旅
かごしまの旅
検索
https://www.kagoshima-kankou.com/

もっと鹿児島を知りたい方は
QR コードを読み込んでみてね！

鹿児島の日本一！

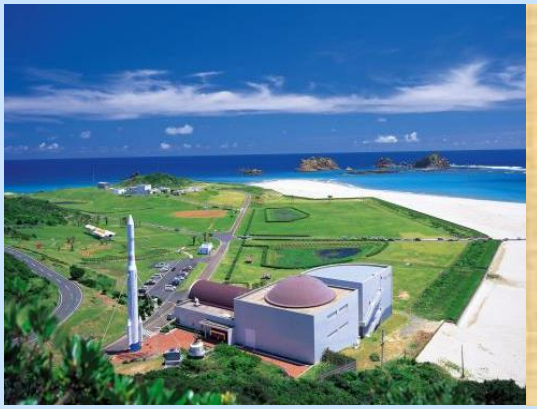
大根の王様！さくらじま大根

さくらじま大根は直径 20～30 ㎝、重さ 10～20 ㎏もあります。柔らかく甘味があり、生でも煮てもおいしい、まさに、大根の王様です。平成 15（2003）年に生産された重さ 31.1 ㎏、胴回り 119 ㎝の大根は、世界一重い大根としてギネスブックに登録されました。

樹齢 7,200 年　縄文杉

屋久島にある縄文杉は、いろいろな説がありますが、樹齢 7,200 年の日本一長生きともいわれる杉で、昭和 41 年に発見されました。木の幹周りは 16.4 メートル、高さは 25.3ｍで、表面には“こぶ”のようなデコボコがある立派な風格の木です。屋久島では、樹齢 1,000 年以上の杉が「屋久杉」と呼ばれ、それ未満の杉は「小杉」と呼ばれています。

日本で一番宇宙に近い県



日本のロケット打ち上げ施設は鹿児島県にしかありません。「種子島宇宙センター」からは、主に技術試験衛星や地球観測（かんそく）衛星などの実用衛星が打ち上げられています。また、「内之浦宇宙空間観測所」からは、主に研究目的の天文観測衛星や惑星探査機などが打ち上げられています。

©鹿児島県　公益社団法人鹿児島県観光連盟

まだまだあるよ！日本一！

1 位 日帰り温泉数

1 位 焼酎消費量

1 位 焼酎酒造場数

1 位 青年海外協力隊隊員数

1 位 小学生・お手伝い率

1 位 中学生保護者の学校行事参加率

1 位 花・植木屋店舗数

1 位 25 歳以上ゲートボール人口

1 位 20～30 代男女比

1 位 現役力士出身地

1 位 養殖ブリ漁獲量

1 位 熱中症救急搬送者数

1 位 高齢者の熱中症救急搬送者数

1 位 豚飼育頭数

1 位 肉屋店舗数

1 位 弓道場数

1 位 キャンドゥ店舗数

1 位 ガソリンスタンド数

1 位 酢消費量

参考：都道府県別統計とランキングで見る県民
（https://todo-ran.com/）

©鹿児島県　公益社団法人鹿児島県観光連盟

鹿児島 IYEO がおススメ　来たら必ず食べてほしい

かごしまのうまいもん！

黒豚しゃぶしゃぶ

薄切りの豚肉をだしにくぐらせて
特製のポン酢や塩で！

鹿児島黒牛のステーキ

2022 年和牛オリンピックで
内閣総理大臣賞受賞の良質な牛肉を贅沢に

鶏飯

ご飯に鶏肉・椎茸・錦糸卵・パパイヤ漬け等を乗せて
鳥だしをかけて食べる！給食でも出ます！

鳥刺し

新鮮な鶏肉のおさしみ
スーパーでも売っている身近な味！

鹿児島ラーメン

定番は豚骨や鶏ガラスープ。意外とあっさり食
べられる。付け合わせのお漬物も相性抜群。

回るソーメン流し

夏に家族で１度は行く机上で
回るソーメン流し！マスの塩焼きと一緒に。

きびなごのおさしみ

県内全域で獲れるが、鮮度が短いため鹿児島
で獲れたてを食べてほしい。酢醤油が美味！

うなぎ

実はうなぎの養殖日本一。
ふっくらとした焼き上がり。

©鹿児島県　公益社団法人鹿児島県観光連盟

かごしまの伝統工芸

さつま切子

薩摩藩のガラス製造は、島津家第 27 代当主の斉興が、江戸から招いたガラス職人に薬ビンをつくらせたのが始まりです。後を継いだ斉彬は着色ガラスを研究させ、透明ガラスに色ガラスを被せ、カットを施して模様を刻む「薩摩切子」を完成させました。しかしながら、薩摩切子は明治 10 年の西南戦争で完全に途絶えたと考えられています。現在製造されている薩摩切子は、昭和 60 年に薩摩切子ゆかりの地、鹿児島市磯で再興されたものです。

薩摩焼(白薩摩・黒薩摩)

薩摩焼は大きく「白薩摩」と「黒薩摩」に分けられます。気品がある白薩摩は藩主の御用窯から発展したもので、象牙色の表面に貫入といわれる細かなヒビが入っているのが特徴です。一方、黒い光沢を持ち素朴な温もりを感じさせる黒薩摩は、庶民のための生活の器としてつくられ、暮らしに溶け込んでいます。

大島紬

1,300 年の歴史を持ち、絹織物の最高傑作といわれています。30 数工程もある緻密な手作業により、図案から織り上がるまで 1 年以上かかるものもあります。大島紬独自の技法「テーチ木泥染め」は、7 世紀中頃から行われていた古代染色の技法を取り入れたものです。緻密な絣模様や、軽くて暖かく、しなやかで着くずれしないなどの優れた特徴があります。